

知財セミナー



より実用的で
ライセンスにつながる技術創出の
ヒントになる主に研究者向けの
基礎的なセミナーです

～実用的な知的財産を創造するチームの特徴～

「技術を説明しても、相手の反応が悪い。」

そのように感じたことはありませんか。

私たち弁理士は、日々、特許審査官に新しい技術を説明しています。審査官は、基本的に特許権を成立させたくありません。そのため、審査官の反応は、いつも悪いのです。しかし、実は、私が特許庁で特許審査官をしていたころ、100件に1件くらい「特許権を成立させたい!」と思うものがありました。書類を読んだとき、情報に加えてワクワク感も伝わってきて、そして、だんだんと「IからWe」になっていくのです。今回は、私が日々チャレンジしている「技術を伝え、みんなを巻き込む工夫」を、今取り組んでいる実例を交えて紹介します。

講師

【知的財産総合事務所 NEXPAT】

羽立 章二

弁理士

イノベーション推進機構 客員教授

平成28年

11月18日(金) 13:00 ~ 14:30



インキュベーションラボラトリー

1階 リエゾン会議室

(キャンパスマップ 85番) http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/map_kurokami_2

問合せ先：マーケティング推進部 社会連携課 sangaku-somu@jimmu.kumamoto-u.ac.jp